



地域研究集会

第45回「相模湾の環境保全と水産振興」シンポジウム  
自然現象の中で漁業を守る

日時：2024年11月1日（金）9:30-12:50  
会場：小田原市荻窪300番地 小田原市生涯学習センターホール  
共催：（公財）相模湾水産振興事業団、小田原市  
コンピナー：松山優治（海洋大）・武井 正（（公財）相模湾水産振興事業団）・  
石黒雄一（神奈川水技セ）  
問合せ先：zaisagami@samba.ocn.ne.jp

挨拶：木村伸吾（一般社団法人水産海洋学会会長） 9:30-9:40  
加藤憲一（小田原市長）  
武井 正（公益財団法人相模湾水産振興事業団理事長）

セッション1 自然災害から環境と漁業を守る

座長：鎌谷明善（東水大名誉教授）  
講演1 震災となりわい 9:40-10:30  
長島秀樹（海洋大名誉教授）  
講演2 台風が引き起こす沿岸急潮・・・観測と予測 10:30-11:10  
井桁庸介（水産機構資源研）

セッション2 黒潮大蛇行が漁業に及ぼす影響

座長：田島良博（神奈川水技セ相模湾）  
講演3 黒潮大蛇行が関東・東海海域の漁業に及ぼす影響 11:10-11:40  
日下 彰（水産機構資源研）  
講演4 静岡県の漁業に及ぼす影響・・・さば類、シラス、いわし類を中心に 11:40-12:05  
岡田裕史・鈴木聡志・市川喬雅・青山 航（静岡水技研）  
講演5 神奈川県漁業に及ぼす影響・・・相模湾・東京湾の漁況から 12:05-12:30  
岡部 久・吹野友里子・高村正造・木下淳司・田村 怜子（神奈川水技セ）

総合討論

座長：松山優治（海洋大） 12:30-12:50

**開催趣旨**：沿岸域の海洋環境や漁業は自然現象の影響を受ける。例えば、近年、地震・津波が頻繁に発生し、沿岸域では人命や貴重な財産が奪われる甚大な被害が起きている。また、地球温暖化の影響により台風が強化され、強風・豪雨災害が毎年のように起きており、台風通過に伴い発生する急潮による漁具被害が危惧される。さらに、2017年夏季に発生した黒潮大蛇行流路は2024年5月現在も継続しており、こうした黒潮流路の変化は沿岸環境や漁況に影響している。そこで、本研究集会では、過去に関東地方を襲った地震・津波について津波専門家の立場から紹介し、防災の一助とするとともに、過去の急潮を観測とモデルから検証・確立した急潮予測を紹介する。さらに、黒潮大蛇行が関東・東海海域および静岡県と



神奈川県沿岸漁業に及ぼす影響についても紹介し、自然現象に左右される沿岸域の海洋環境と漁業について様々な立場から意見交換することを期待したい。